

ほくとの
日常活動紹介
境沢 彩

Aさん(横地分類A3)はリビングにいます。職員の声や物音をよく聞いています。普段、座位で過ごしているAさんの隣に行くと、職員の方に顔を動かします。絵本の語りかけ活動では「さつまのおいも」をゆっくり語りかけると、始め、所々であくびが見られ、語りにより意識が向いていない様子がありました。一度読み終えると、下を向いていた顔が上がり、言葉がなくなりました。二度目を語りかけてみました。視線を上に向けたままじっと動きを止めて、語りに意識を向けて聞いている様子がありました。「えいえい」「びゅんびゅん」「ファイト」「ファイト」のフレーズの後、少し経ってから次の言葉がくる前の短い間でふっと表情を緩めていました。擬音語の変化や擬音語が繰り返されるリズムを感じているようでした。また、「スッポーン!」「私たちの負けでござす」のフレーズ

を言った後の間でも表情が緩んでいました。「くさーい」「くさーい」のフレーズでも笑顔が見られ、伸びるような音のある言葉に注目して楽しんでるようでした。「もくもくやかん」では、「ぎらぎら ぎらぎら」の語り始めから、表情に変化がありました。「ちゃっぼん、ちゃっぼん、ちゃっぼん」から続く「どてっ ばかーっ ちゃっぼりん」のフレーズを表情を緩めたままよく聞いていました。「おいつちに さんし やかんです」の語りになると、更に顔がパツと明るくなりました。語りかけている職員の方を何度も向くように顔を動かして、全体の語りをよく聞いています。リズムカルであったり抑揚のあるフレーズに面白みを感じているようでした。一冊の絵本の語りの中で、色々な表情の変化が見られ、それぞれの言葉のリズムを楽しんでいるのだと思います。



歌のリズムを聞いて楽しむ活動では、「あめふり」を歌い始めると、背筋を伸ばし表情を緩めていました。「びゅんららんらん」で1番を歌い終えると、目を大きくし口をパツと開けて明るい表情になりました。歌のひとつとまりのリズムを感じているようでした。少しの間をあけ、2番を歌いかけると、1番の時にはなかった良い表情で聞いていました。歌い終えた後の間で、ふーっと息をはき笑顔になりました。3番を歌い始めた時、ふっと声が漏れて表情を緩めていました。歌い始め、歌いかけの途中、歌い終わりで違う表情が見られました。2回3回と繰り返すうちに段々と期待が高まるように聞いて楽しんでるように思います。絵本の語りかけ、歌いかけ、それぞれの聞く楽しみがあるように感じられます。

あさひの
日常活動紹介
加茂 夏希

Aさん(横地分類A1)は、絵本の語りかけをよく聞いています。繰り返しの言葉や歌のような流れるリズムのある語りかけにじっと耳を澄まして聞いている様子が見られます。また語りのリズムだけでなく、物語の盛り上がり、分かんややすい山場のあるような絵本も楽しんでいきます。『おおかみと七匹の子やぎ』の語りかけでは、母さんやぎのまねをするオオカミと留守番をしている子やぎたちの会話を微笑んで聞いています。「あけてちょうだい。おおかみです。すよ。」「こえはにているけど、おおかみのあしはまつしろさ。おまえはおおかみだろ。」という会話では、語りかけをしている職員のオオカミと子やぎの声の使い分けをおもしろそうに聞いています。オオカミが子やぎたちを襲う場面では「ガオー」というオオカミの声や「こわい。た、たすけてー!」と逃げようとする子やぎたちの声に思わず表情も真剣です。オオカミの声色と少し強くなった口調を感じているのが分かります。その後の「ああ、みんなたべられちゃった」「まあ、たいへん。すぐに、にーさんたちをたすけにいきましょう。」という母さんやぎと残された子やぎの会話には、上がっていた腕は徐々に下がりました。語りかけに聞き入っています。オオカミの低い声から母さんやぎの優しい声に変わって力が抜けたようです。最後はホッとすく息をつくこともあり、集中していた様子がよく分かります。Aさんに言葉やストーリーの理解はありませんが、オオカミと子やぎのテンポの良い会話のある場面や子やぎが襲われる緊迫した場面など、それぞれの語り口調の違いで気持ちが高まっているように感じます。今後は優しくほのした場面、思わず笑ってしまうような場面のある絵本も楽しめると考えています。

歌いかけは、テンポの良いリズムカルな曲を聞いて楽しんでいきます。歌い始めは、嬉しくて盛り上がり力が入り過ぎてしまうこともあり、徐々に歌いかけに耳を傾けるようになります。『アイスクリーム之歌』では、「プカプカドンドン冷たいね」の部分から、表情がパツと明るくな